

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光国際係
■評価事業名称	みちのく芸能まつり開催事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060100 - 036	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	日本有数の民俗芸能が伝承される本市において、他に類を見ない民俗芸能の祭典を中心とした芸能祭開催に伴う、多くの観光客誘客と芸能の保存伝承、市民総参加によるぎわいの創出。みちのく芸能まつり開催における、花火大会市長招待席設置事務、駐車場借り上げ事務、芸能部会事務、花火部会事務。そのほかの部会は事務補助。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	みちのく芸能まつり開催事務	関係団体等	花火大会における市長招待席設置	花火大会における市長招待席設置工事1件。許認可関連及び使用申請等多数。

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	594	612	617	671	
人件費	7,208	5,443	10,836	5,488	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,802	6,055	11,453	6,159	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	北上みちのく芸能まつりの実施	実施	実施	実施	実施	8月第一金曜日から3日間開催
02	まつり期間中の観光客入込数	391,000人	407,300人	252,300人	267,000人	各会場の入込調査による
03	入込1人当たりコスト	20円	15円	46円	23円	フルコスト÷まつり期間中の観光客入込数

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

芸能、花火ともに安全に開催され、北上の魅力をPR。30年度は雨天による大幅な入込の減があった。

### 問題点・課題等

警備人件費、業務委託費等の高騰。花火観覧スペースを拡大できないなど費用面での課題が残った。まつり会場周辺代替駐車場が不足。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

現状では、一般販売用の柵席を実行委員会の予算で、市長招待席を市の予算でそれぞれ設置している。事務の効率化及び負担の軽減を考えた場合、市長招待席の設置については政策企画課で予算確保のうえ業務を実施するか、又は実行委員会で補助金を増額し、一体的に柵席を設置する等の方策が考えられる。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了